

平成29年度事業報告

概要

1. 我が国における鶏卵・鶏肉の価格は、近年にない高相場が長期に亘り継続してきた。ただ、素ひなコストの大部分を占める配合飼料価格は依然、高水準で推移するとともに、光熱費、燃料費や生産資材費なども高い水準が継続しており生産者の経営を圧迫している。

こうした中、種鶏孵卵業界は、長期に亘り鶏卵・鶏肉価格が上昇したとは言うものの、これまで生産費の上昇が適時適切に素ひな価格に反映されてこなかったことに加え、飼料高等のコストアップ要因を抱えていることから、素ひな生産の経営環境は引き続き厳しい状況にある。

鳥インフルエンザについては、本年1月に香川県において高病原性鳥インフルエンザが発生したが、幸い関係者の迅速な対応により蔓延することなく迅速な封じ込めに成功した。引き続き、厳密な防疫対策を実施していく必要性がより重要となってきた。海外では近隣のアジア諸国を含め全世界的に鳥インフルエンザの発生がみられており、我が国の種鶏孵卵業においても、いつどこで発生してもおかしくない状況を鑑みると引き続き厳格な衛生管理の徹底と防疫対応が必要とされている。

一方、我が国の原種鶏・種鶏の主な輸入先である英、仏、独等においても高病原性鳥インフルエンザが相次いで発生し、我が国への侵入防止の観点から家きん等の輸入停止措置が頻繁に執られてきた。こうした状況の中、英国政府との間ではコンパートメント主義について合意が形成され、昨年2月1日にはコンパートメント主義が適用され日本認定コンパートメント施設から輸出される家きん初生ひなについて輸入が認められるようになっている。

TPPについては、昨年11月、米国を除いた協定が大筋合意しており、二国間自由貿易協定や経済連携協定による関税交渉など、今後ともこうした動きにも注視していく必要がある。

種鶏孵卵業界としては、鶏卵・鶏肉の大幅な需要増が見込めない中であって飼料高等のコストアップ要因に加え、人材難の問題等が日増しに大きくなっており、経営を取り巻く環境は非常に厳しいが、引き続き経営体質の強化を図り鶏卵・鶏肉生産のための素ひなを安定的に供給するため、清浄で健康な素ひなの生産に努めてきたところである。

平成29年度に実施した各事業の実施状況は次のとおり。

I 公益目的事業

1 種鶏導入調査事業（自主財源）

(1) レイヤー素ひな計画生産検討会・レイヤー孵卵部会・ひな育成部会

年度中に2回（平成29年7月13日（木）、平成30年2月15日（木））、検討会を開催して、レイヤーの種鶏導入実績及び種鶏導入計画を基に「平成29年及び平成30年の素ひな生産見込み等」について検討を行い、レイヤー素ひなの生産見込み羽数を公表した。

○ 種鶏導入実績（平成29年1月～12月）

1, 205千羽（国内産種鶏1, 114千羽、輸入種鶏91千羽）
（対前年比104. 2%）

(2) ブロイラー素ひな計画生産検討会・ブロイラー孵卵部会

年度中に2回（平成29年7月12日（水）、平成30年2月15日（木））、検討会を開催して、ブロイラーの種鶏導入実績及び種鶏導入計画を基に「平成29年及び平成30年の素ひな生産見込み等」について検討を行い、ブロイラー素ひなの生産見込み羽数を公表した。

○ 種鶏導入実績（全国）（平成29年1月～12月）

5, 015千羽（国内産種鶏4, 914千羽、輸入種鶏101千羽）
（対前年比100. 0%）

2 鶏ひな孵化羽数調査事業（孵化場経営改善推進事業）（JRA・自主財源）

(1) 鶏ひな孵化羽数データ収集調査

毎月全国の孵卵場（99か所、うちレイヤー30孵卵場、ブロイラー69孵卵場）を対象に実施。レイヤーについては採卵用めすの素ひな出荷・え付け羽数、ブロイラーについては、ブロイラー用素ひなの出荷・え付け羽数について都道府県別え付け羽数を調査。

(2) 鶏ひな孵化羽数データの公表

調査結果は、毎月概要としてホームページに公表するとともに、調査協力孵卵場に情報提供した。併せて、年次ごとに年報として取りまとめ公表。

(3) 素ひな出荷・え付け羽数実績（全国）（平成29年1月～12月）

○ 採卵用めすえ付け羽数：109, 268千羽（対前年比102. 2%）

○ ブロイラー用え付け羽数：730, 591千羽（対前年比101. 2%）

3 鶏卵・鶏肉の消費促進事業（自主財源）

(1) 鳥インフルエンザ対策・鶏卵消費促進事業（（一社）日本養鶏協会）

（一社）日本養鶏協会が実施する「国産鶏卵に関する普及啓発事業」について協力負担金を拠出し協力。

主な事業：「いいたまごの日」

(2) 全国鶏肉消費促進協議会に対して協力負担金を拠出し協力。

全国鶏肉消費促進協議会（事務局：（一社）日本食鳥協会）

主な事業：国産チキン祭りへの後援及び助成

構成団体：（協）日本飼料工業会、全国農業協同組合連合会、
（一社）日本養鶏協会、（一社）日本種鶏孵卵協会、
（一社）日本食鳥協会

4 孵化場経営改善推進事業（JRA助成事業）（平成27年度新規：3カ年事業）

(1) 孵化場経営改善推進事業 事業推進委員会

① 委員構成

山本 満祥：（株）山本養鶏孵化場 代表取締役社長

渡邊 周治：（株）ゲン・コーポレーション 代表取締役社長

池内 豊：（独）家畜改良センター兵庫牧場長

廣川 治：（一社）日本養鶏協会 専務理事

② 事業推進委員会の開催

i 第1回事業推進委員会

開催期日：平成29年7月14日（金）

開催場所：馬事畜産会館

協議事項：

- 1) 平成28年度孵化場経営改善推進事業の進捗状況
- 2) 平成29年度孵化場経営改善推進事業の実施計画

ii 第2回事業推進委員会

開催期日：平成30年3月6日（火）

開催場所：馬事畜産会館

協議事項：

孵化場経営改善推進事業の達成目標等について自己評価結果の検証

(2) 孵化場経営改善推進事業 生産費算定システム構築事業
専門委員会

① 委員構成

山本 満祥 (株)山本養鶏孵化場 代表取締役社長
山上祐一郎 (株)福田種鶏場 代表取締役社長
車田 信彦 (株)福島エンヤ 代表取締役社長
宮園 秀光 (株)イシイ 取締役
都丸 高志 (株)トマル 代表取締役社長
渡邊 周治 (株)ゲン・コーポレーション 代表取締役社長
村田 明敏 (株)村田孵化場 代表取締役社長
池内 豊 (独)家畜改良センター兵庫牧場長

② 生産費算定システム構築事業専門委員会の開催

i 第1回専門委員会

開催期日：平成29年7月21日(金)

開催場所：馬事畜産会館

協議事項：

- 1) 平成28年度孵化場経営改善推進事業の進捗状況
- 2) 平成29年度孵化場経営改善推進事業の実施計画
- 3) その他

ii 第2回専門委員会

開催期日：平成30年3月1日(木)

開催場所：馬事畜産会館

協議事項：

- 1) 平成29年度孵化場経営改善推進事業の進捗状況と結果
- 2) その他

(3) 孵化場経営改善推進事業 種鶏孵卵衛生管理士研修会の開催

開催期日：平成29年10月24日(火)～27日(金) 3泊4日

開催場所：(独)家畜改良センター中央畜産研修施設

(福島県西白河郡西郷村大字小田倉字小田倉原1)

参加者：58名

5 種鶏孵卵場防疫対策強化事業(JRA 助成事業) (平成 29 年度新規: 3 カ年事業)

種鶏孵卵業では鳥インフルエンザ対策を中心として清浄化が進んでいるが国内ワクチンのないコクシジウム症やアデノウイルス症について解決の取っ掛かりがなく国内業者は困っており大腸菌によるヒナ汚染は依然として大きな問題である。これらのうち、平成 29 年度はアンケート調査を実施するとともにコクシジウム症について浸潤調査及び現地調査を実施した。

(1) 事業推進委員会

- ① 委員構成
- | | | |
|-------|-----------------|---------|
| 山本 満祥 | :(株)山本養鶏孵化場 | 代表取締役社長 |
| 渡邊 周治 | :(株)ゲン・コーポレーション | 代表取締役社長 |
| 中村 政幸 | :元北里大学教授 | |
| 磯部 尚 | :鶏病研究会理事長 | |

② 事業推進委員会の開催

i 第 1 回事業推進委員会

開催期日:平成 29 年 7 月 4 日(火)

開催場所:馬事畜産会館

協議事項:1) 種鶏孵卵場防疫対策強化事業の概要

2) 平成 29 年度種鶏孵卵場防疫対策強化事業の実施計画

ii 第 2 回事業推進委員会

開催期日:平成 30 年 3 月 15 日(木)

開催場所:馬事畜産会館

協議事項:1) 平成 29 年度種鶏孵卵場防疫対策強化事業の進捗状況

2) 平成 30 年度種鶏孵卵場防疫対策強化事業の実施計画

(2) 専門委員会

① 委員構成

山本 満祥:(株)山本養鶏孵化場 代表取締役社長

小田 憲司:(一財)生物科学安全研究所理事

中村 政幸:元北里大学教授

磯部 尚:鶏病研究会理事長

松林 誠:大阪府立大学准教授

永野 哲司:日生研(株) 企画学術部長次長

森腰 俊亨:(株)松阪ファーム 代表取締役社長

山上祐一郎:(株)福田種鶏場 代表取締役社長

② 専門委員会の開催

i 第1回専門委員会

開催期日：平成29年7月5日（火）

開催場所：馬事畜産会館

協議事項：

- 1) 種鶏孵卵場防疫対策強化事業の概要
- 2) 平成29年度種鶏孵卵場防疫対策強化事業の実施計画

ii 第2回専門委員会

開催期日：平成30年3月14日（水）

開催場所：馬事畜産会館

協議事項：

- 1) 種鶏孵卵場防疫対策強化事業の進捗状況
- 2) 平成29年度種鶏孵卵場防疫対策強化事業の結果

6 地鶏等生産振興推進事業（国費、平成29年度事業）

国産鶏種を軸に輸入鶏肉との差別化を図り、消費者に合理的価格で鶏肉を提供するためには、肉質面で特徴のある地鶏肉の生産基盤強化（特に、地鶏等の素材鶏（種鶏）の増体性等の改善）を図る必要がある。

このため、改良の専門家等による助言の場としての連絡調整会議を開催した。

（1）地鶏等生産振興推進事業

素材鶏の能力向上のための連絡調整会議

① 委員構成

菑澤圭二郎：（国研）農業・食品産業技術総合研究機構
生物系特定産業技術研究支援センター
新技術開発部 研究リーダー

朝倉 康弘：（独）家畜改良センター兵庫牧場 業務課課長

神林 明義：（独）家畜改良センター岡崎牧場 業務課課長

小松 伸好：（株）小松種鶏場 代表取締役社長

加藤 政彦：（農）甲州地どり生産組合

原 雄一：長野県畜産試験場 主任研究員

今村 睦美：山梨県畜産課 副主査

松下 浩一：山梨県畜産酪農技術センター 主幹研究員

② 素材鶏の能力向上のための連絡調整会議の開催

i 第1回連絡調整会議

開催期日：平成29年6月15日（木）

開催場所：東京ダイヤビル1号館1F研修室

協議事項：

- 1) 地鶏等生産振興推進事業の概要
- 2) 素材鶏の能力向上のためのデータ集積状況

ii 第2回連絡調整会議（前日に㈱小松種鶏場有明山農場を視察）

開催期日：平成29年10月19日（水）

開催場所：ホテルモンターニュ松本

協議事項：

- 1) 事業の進捗状況と問題点の把握について
- 2) 今後の展開

iii 第3回連絡調整会議

開催期日：平成30年3月8日（木）

開催場所：馬事畜産会館

協議事項：

- 1) 事業の実施結果と問題点について
- 2) 今後の展開

II 種鶏孵卵経営対策事業（自主財源事業）

1 種鶏・孵卵経営セミナー事業

テーマ：種鶏場及び孵卵場を巡る情勢

開催期日：平成30年2月15日（木）

場所：馬事畜産会館 会議室

参加者：44名

演題及び講師

○「日本型畜産GAPの推進について」

森川 昇治 農林水産省生産局畜産部畜産振興課課長補佐

○「ワクモを巡る最近の情勢」

村野 多可子 全国農業協同組合連合会家畜衛生研究所

○「鶏伝染性気管支炎（IB）を巡る情勢」

林 志鋒 （一財）日本生物科学研究所製造部部長

2 地域協議会等組織強化対策事業

(1) 地域協議会

① 東日本レイヤー孵卵協議会

i 通常総会

開催期日：平成 29 年 8 月 8 日（火）

場 所：馬事畜産会館

議 題：(1) 平成 28 年度事業報告及び決算報告
(2) 平成 29 年度事業計画及び予算案
(3) 情勢報告・意見交換

参 加 者：8 社、8 名（ほか事務局 1 名）

ii 現地協議会

開催期日：平成 29 年 11 月 7 日（火）

場 所：鴨川グランドホテル（千葉県鴨川市広場 820）

議 題：(1) 地域情勢報告・意見交換
(2) 協会事業
(3) 鳥インフルエンザ関連

参 加 者：8 社、9 名（ほか事務局 1 名）

② 中部レイヤー孵卵協議会

i 総会

開催期日：平成 29 年 6 月 16 日（金）

会 場：静岡グランドホテル 中島屋（静岡市葵区紺屋町 3-10）

議 題：(1) 平成 28 年度事業報告及び収支決算承認
(2) 平成 29 年度事業計画及び収支予算承認

参 加 者：4 名（4 社）（ほか事務局 1 名）

③ 九州・四国レイヤー孵卵協議会

i 総会

開催期日：平成 29 年 6 月 13 日（火）

会 場：八仙閣（福岡市博多区博多駅東 2 丁目 7-27）

議 題：(1) 平成 28 年度事業報告及び収支決算に関する件
(2) 平成 29 年度事業計画及び収支予算案承認の件
(3) 情報交換

参 加 者：8 名（7 社）（ほか事務局 1 名）

④ 東日本ブロイラー孵卵協議会

i 通常総会

開催期日：平成 29 年 7 月 19 日（水）

場 所：月岡温泉「泉慶」（新潟県新発田市月岡温泉 453 番地）

議 題：(1) 平成 28 年度事業報告及び決算報告

(2) 平成 29 年度事業計画及び予算案

(3) 情勢報告・意見交換

参加者：8 名（7 社、ほか事務局 1 名）

⑤ 西日本ブロイラー孵卵協議会

i 総会

開催期日：平成 29 年 7 月 27 日（木）

場 所：岡山シティホテル桑田町（岡山市北区桑田町 3-30）

議 題：(1) 平成 28 年度事業報告及び決算報告

(2) 平成 29 年度事業計画及び予算案

(3) その他

参加者：25 名（14 社、ほか山本会長及び事務局 1 名）

ii 臨時総会

開催期日：平成 30 年 3 月 20 日（火）

場 所：ピュアリティまきび（岡山市北区下石井 4162）

議 題：役員改選

参加者：25 名（14 社）

(2) 各部会の開催状況

① 原種鶏部会

i 総会

開催日：平成 29 年 7 月 18 日（火）

場 所：金澤町家料亭 壽屋（金沢市尾張町 2-4-13）

議 題：(1) 平成 28 年度事業報告及び決算報告について

(2) 平成 29 年度事業計画及び予算(案)について

(3) その他

参加者：7 名（7 社、ほか事務局 1 名）

ii 動物衛生課及び動物検疫所との情報交換会

開催日：平成29年9月20日（水）15：00～17：15

場所：農林水産省生産局第2会議室

出席者：奥山 海平（東西産業貿易(株)）
山本 剛史（(株)ヤマモト）
吉田 忠司（(株)日本チャンキー）
小久保英明（(株)日本チャンキー）
渡邊 周治（(株)ゲン・コーポレーション）
広瀬 毅（(株)ゲン・コーポレーション）
後藤 直樹（(株)アイエスエージャパン）
大坪 研太郎（(株)松阪ファーム）
米田 勝紀（（一社）日本種鶏孵卵協会）

○ 農林水産省側

谷 義人（消費・安全局動物衛生課 課長補佐（検疫業務班））
宮田 透（生産局畜産部畜産振興課 課長補佐）
赤松 大暢（生産局畜産部畜産振興課）

○ 動物検疫所側

阿久澤 義徳（調整指導官）
久保 顕志（精密検査部微生物検査課主任検疫官）

- 協議事項：（1）輸入解禁についての進捗状況
（2）初生ひなの輸入検疫上の諸問題
（3）海外における地域主義の導入に向けての動き
（4）コンパートメント制度の導入

② 国産鶏普及協議会

i 通常総会

開催期日：平成 29 年 7 月 3 日（月）

場 所：馬事畜産会館 会議室 出席会員：7 社

参加者：21 名

（会員 7 名、来賓 5 名、優良農家 2 名、報道 5 社、事務局 2 名）

議 題：＊平成 28 年度事業報告及び収支決算報告

＊平成 29 年度事業計画及び予算案

ii 記念事業

開催期日：平成 29 年 7 月 3 日（月）

場 所：馬事畜産会館 会議室

◎ 国産鶏飼養優良経営農家表彰事業：

採卵鶏部門： 有限会社 たかはしたまご（埼玉県日高市旭ヶ丘 9）

代表取締役 高橋 尚之

農場長 中野 功

◎ 意見交換会

＊「欧州における最近の肉用銘柄鶏等事情調査」

講 師：池内 豊（（独）家畜改良センター 兵庫牧場長）

講 師：山本 洋一（（独）家畜改良センター 岡崎牧場長）

iii 現地研修会（平成 29 年 10 月 19 日（木）～10 月 20 日（金））

1) 平成 29 年 10 月 19 日（木）

場所：ラ・プラス青い森（青森市中央 1-11-18）

出席者：13 名（会員 6 名、来賓 3 名、マスコミ 3 名、事務局 1 名）

演題&講師：

・「（地独）青森県産業技術センターの概要」

青森県畜産技術センター 畜産研究所 所長 石山 治

・「あすなろ鶏卵について」

青森県畜産技術センター畜産研究所総括研究管理員 小原 孝博

・「（独）家畜改良センター兵庫牧場の概要」

（独）家畜改良センター兵庫牧場 牧場長 池内 豊

2) 平成 29 年 10 月 20 日（金）

・青森県畜産技術センター 畜産研究所の視察

・東北牧場 現地視察

iv 平成29年度鶏改良推進中央協議会（(独)家畜改良センター主催）

開催期日：平成29年9月28日（木）

場 所：自然科学研究機構 岡崎コンファレンスセンター 大会議室

議 題：* 中央情勢報告

* 鶏改良増殖に関する取り組み状況

出席会員：9名 参加者：102名

v 平成29年度地鶏・国産鶏種普及促進ネットワーク会議

開催期日：平成29年9月29日（金）

場 所：自然科学研究機構 岡崎コンファレンスセンター 大会議室

議 題：* 地鶏等の生産状況および種鶏のリスクヘッジへの対応

* 兵庫牧場種鶏の飼養管理について

* 講演：「種鶏の飼養管理ポイント」

(株)イシイ 雛・ワクチン卵事業本部 堀川 清彦

* 事例紹介

* 第2回卵用地鶏シンポジウムの概要報告

出席会員：8名 参加者：100名

3 平成29年度定時総会・理事会等の開催概要

(1) 第42回定時総会

開催日時：平成29年5月18日（木）

場 所：馬事畜産会館

出席会員：

総会員79名中、本人出席22名、委任状13名、書面議決者33名、計68名

議 題：

第1号報告事項：平成28年度事業報告

第2号決議事項：平成28年度貸借対照表及び正味財産増減計算書

第3号報告事項：平成29年度事業計画及び平成29年度正味財産増減予算書

第4号決議事項：平成29年度会費の額及び徴収方法

第5号決議事項：平成29年度借入金最高限度額

第6号決議事項：理事及び監事の報酬の額及び支給基準

第7号決議事項：役員の新補欠選任

(2) 協会運営事項

① 平成 28 年度（一社）日本種鶏孵卵協会事業・会計監査

開催日：平成 29 年 4 月 20 日（木）

場 所：（一社）日本種鶏孵卵協会事務局

監 事：都丸 高志、山上 祐一郎、 会 長：山本 満祥

監査事項：＊平成 28 年度事業報告

＊平成 28 年度収支決算及び貸借対照表、正味財産増減計算書、
財産目録、監査講評

② 理事会（理事・監事）

i 第 1 回理事会

開催日時：平成 29 年 4 月 20 日（木）

場 所：馬事畜産会館 会議室

出席理事・監事：理事 13 名（総理事 15 名） 監事 2 名

協議事項：・第 42 回定時総会の招集日時と場所について

・第 42 回定時総会提出議案について

・J R A 畜産振興事業等について

・会員の異動状況について

・第 2 回理事会及び平成 29 年度

第 1 回素ひな計画生産検討会の日程

ii 第 2 回理事会

開催日時：平成 29 年 7 月 13 日（木）

場 所：馬事畜産会館 会議室

出席理事・監事：理事 12 名、監事 1 名出席（総理事 15 名、監事 2 名）

協議事項：・平成 29 年度事業の推進について

・J R A 畜産振興事業等

iii 第 3 回理事会

開催日時：平成 30 年 2 月 14 日（水）

場 所：馬事畜産会館 会議室

出席理事・監事：理事 13 名、監事 2 名出席（総理事 15 名、監事 2 名）

協議事項：・平成 29 年度事業報告及び決算見込みについて

・平成 30 年度事業計画及び予算（案）について

③ 正副会長会議

i 第1回正副会長会議

開催日時：平成29年4月20日（木）

協議事項：理事会審議事項について

ii 第2回正副会長会議

開催日時：平成29年7月13日（木）

協議事項：理事会審議事項について

iii 第3回正副会長会議

開催日時：平成30年2月14日（水）

協議事項：理事会審議事項について